

## 東稜高生手作りガウン

100着 洛和会音羽病院に寄贈

新型コロナウイルス感染症の対応にあたる医療従事者を支援するため、東稜高(京都市伏見区)の生徒たちが

医療用ガウンを手作り、洛和会音羽病院(山科区)に寄贈した。「たくさんの人を救ってく

れてありがとうござい  
ます」などと記した手  
紙を添え、看護師や院  
長らに手渡した。

生徒有志が、職業体  
験などに関わりのあっ  
た同病院の役に立てな  
いかと話し合い、ガウ  
ンの寄贈を発案。ビニ  
ール袋や養生テープを  
使って防護用のガウン  
約100着を制作し、  
生徒代表者2人が12日  
に病院を訪れて寄贈し  
た。

看護師らに新型コロナウイルス感染症対策用のガウンを寄贈した東稜高の生徒たち(京都市山科区・洛和会音羽病院)



ガウンを受け取った  
救急棟の看護師高橋  
みなみさん(25)は「自  
分が感染源にならない  
ためにも、ガウンは大  
切。作ってくれたもの  
を愛用したい」と笑顔  
を見せ、同校3年高田  
羽菜さん(18)は「自

分たちは感染を広げないよう自粛することしかできないけれど、ガウンを作ることでも、少しでも医療従事者の方たちの役に立てれば」と話した。

(森静香)